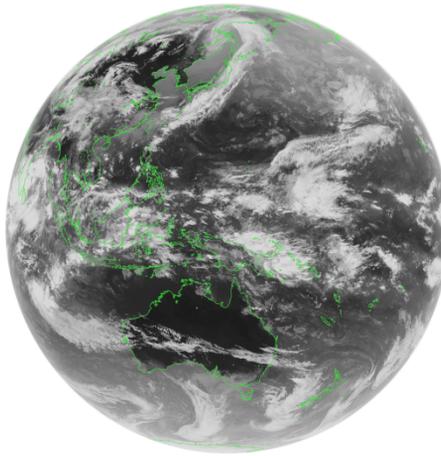


「ひまわり8号」精密幾何補正済グリッドデータ公開 ～「ひまわり8号」のすごさをあなたも実際のデータ解析で体験できます～

■「ひまわり8号」精密幾何補正済グリッドデータの特長

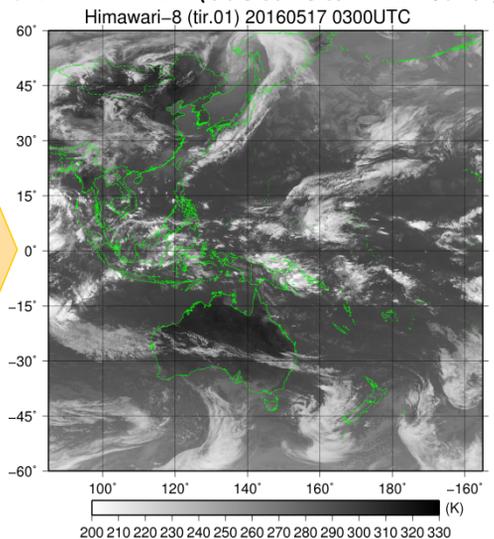
- 平成27年7月に正式運用された「ひまわり8号」は空間解像度、観測バンド数も5から16、観測頻度も1時間から10分（全球モード：FD）へ大幅な機能強化を果たしています。
- 気象庁から送られるひまわり標準データ（HS）は球形（FD）であり、他の環境データと合わせて解析するには使い難く、緯度経度直交座標系（グリッドデータ）への変換（精密幾何補正）が必要です。
- 我々は、**並列計算に特化した精密幾何補正処理システムを開発し、全てのバンドデータを最短で40秒で処理可能**となりました（40CPU、256GBメモリ搭載サーバ上で処理）。この超高速処理により、気象庁からのひまわりデータをほぼ遅延無しでグリッドデータへの変換、および即時公開が可能です。
- グリッドデータ仕様はリリースノート (http://www.cr.chiba-u.jp/databases/GEO/H8_9/FD/) をご確認ください。

ひまわり標準データ (HS,FD 球形)



並列計算による
超高速精密
幾何補正処理

グリッドデータ (緯度経度直交座標系)



*ひまわり標準データには海岸線情報は含まれていません。

*グリッドデータには海岸線情報は含まれていません。

■開発担当者の想い（樋口篤志・准教授、竹中栄晶・客員准教授、豊嶋紘一・特任研究員）

平成19年より4大学連携バーチャルラボラトリー（通称VL）で、CEReSは世界の静止気象衛星データをアーカイブ・処理、公開してきました。この活動が認められ、「ひまわり8号」の研究者向けデータ配布機関の一つとして気象庁より認定され、ひまわり8号データのアーカイブ・データ配布を継続しています。研究者からの要請の高い精密幾何補正済のグリッドデータの作成・公開は利用者拡大の第一歩です。本データは1ヶ月分で全バンド3TB（圧縮形）に達します。“覚悟”して利用して頂ければ幸いです。

本件に関するお問い合わせ
千葉大学環境リモートセンシング研究センター（CEReS） 樋口 篤志 准教授
TEL: 043-290-3858 メール: higu@faculty.chiba-u.jp
研究室ホームページ: <http://www.cr.chiba-u.jp/~higu/>